

令和元年度の予算が決まりました

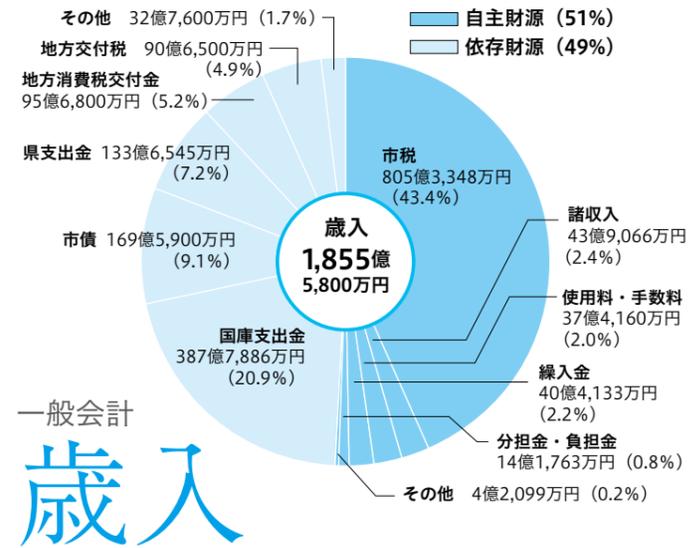
財政課 537・5607

6月25日から開かれた第2回大分市議会定例会で令和元年度の予算が決まりました。これにより、当初予算と合わせた一般会計予算は1,855億5,800万円、これに特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計を加えた予算総額は3,265億8,600万円となりました。

予算の編成に当たっては、教育をはじめ、子育て支援や商工業への支援策、防災対策など、市民生活に密着した分野へ重点的に財源の配分を行いました。今回は、その概要と主な事業を紹介します。(数字は概数)

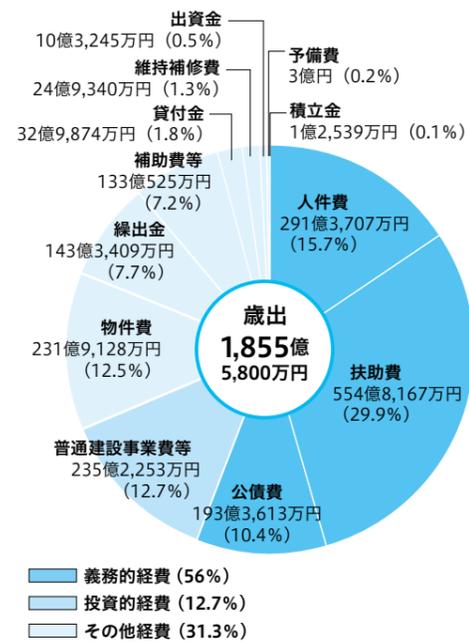
一般会計
1,855億5,800万円

市民一人当たり
38万7,730円

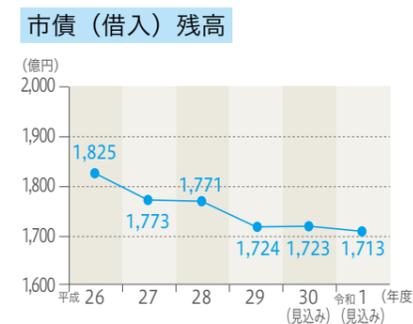


会計	予算額 (万円)
一般会計	1,855億5,800
特別会計	987億1,200
国民健康保険	526億7,400
介護保険	387億4,800
後期高齢者医療	57億3,600
公設地方卸売市場	5億8,500
その他	9億6,900
水道事業会計	180億3,700
公共下水道事業会計	242億7,900
予算総額	3,265億8,600

一般会計 歳出 性質別分類



項目	金額 (万円)
民生費	794億3,451
土木費	207億4,074
公債費	193億3,613
総務費	184億1,581
教育費	158億8,489
衛生費	151億3,170
商工費	65億1,117
消防費	54億8,737
農林水産業費	31億2,000
議会費	9億4,527
予備費	3億
労働費	2億4,041
災害復旧費	1,000



令和元年度予算のポイント

3つの創造

-1- 誰もが安心して笑顔で暮らせる社会の創造

防災・減災対策や安心して子どもを産み育てることができる社会の実現、教育のさらなる充実を進めます。

建築物の耐震化

5億3,253万円

校区公民館や自治公民館などの耐震化を進めるほか、旧耐震基準の木造住宅所有者を対象とした防災ベッドや耐震シェルター設置費用の補助、危険な状態にあるブロック塀等の除却費用への補助を行います。

私立認可保育所等の定員拡大等

16億8,507万円

待機児童解消や安全快適な保育環境整備のため、認可保育所等の施設整備に対し補助を行い、令和2年4月時点で364人の定員拡大を図ります。

教育支援体制のさらなる充実

4億3,330万円

経験豊富で実績のある退職教員「教科指導マイスター」や令和2年度からの小学校における英語の教科化、外国語活動の導入に向けて外国語指導助手を増員するなど、教育支援体制の充実を図ります。

-2- 産業力の強化による活力の創造

まちづくりを支える強い基盤をつくるため、中小企業の支援や農林水産業の振興を進めます。

中小企業の経営基盤の強化

9,703万円

中小企業の販路拡大や経営力強化等に対する支援の拡充を図るほか、在宅就労の活用促進に向け、企業向けのセミナーを開催し、多様な働き方ができる環境の整備に取り組みます。

担い手の確保・育成

3,129万円

農林水産業の新規就業者に対し、栽培施設の整備や機械の導入等を支援するほか、研修や居住等の経費を助成し、担い手の確保・育成を図ります。

観光リーディングプロジェクト

2,031万円

国内外に向けた観光資源の効果的な情報発信や大分駅を起点としたコース等のプロモーションなどを行うとともに、受け入れ環境の整備を進めるなど、誘客および来訪者の満足度向上を図ります。

-3- 次なる時代を見据えた新たな魅力の創造

大分市の特色を生かした中心市街地の魅力向上や地域拠点の機能強化を図り、個性輝く魅力あるまちを創造します。

祝祭の広場の整備

2億2,414万円

ラグビーワールドカップ2019™日本大会までの完成を目指し、中心市街地に「集い」「憩い」「祝い」の空間機能を備えた「祝祭の広場」の整備を進めます。

大分川ダム周辺の整備

5億8,020万円

大分川ダムの完成に合わせて、交流拠点施設としての道の駅や材料山跡地を活用した多目的広場の整備を進めます。

ラグビーワールドカップ2019™日本大会に向けた取り組み

10億7,217万円

ラグビーイベント等の開催や公認チームのキャンプの受け入れのほか、ラッピングバスの運行を行うなど、大会に向けた機運の醸成を図ります。

大分市が掲げる「3つの創造」を、国や県などと「連携」しながら「実行」し、魅力あるまちづくりを進めていきます。